

喜多方市観光振興ビジョン見直し（案）に対する意見等の概要と市の考え方

No	意見等の内容	市の考え方
1	【見直し（案）54 ページ】 花でもてなす喜多方市「花めぐりパンフレット」について、よほど好きなのか何だか分からない荒れ地の1本木を毎年載せているが、何を思ってこの木の写真を懲りずに使っているのか。 こんな木は誰も見に来ない。逆宣伝効果である。 TV カメラマン、デザイナーでもある地域おこし協力隊が2023年3月急ぎ作成した「花の散歩みち式典案内」との差をかみしめるべき。 市のパンフは散歩みちの名前さえ間違っている。常識では考えられない。 そもそもほとんど変化の無い観光パンフレットを毎年作る意味があるのか。 裏表紙の花ごよみは2022年と23年で三ノ倉のコスモスが無くなった以外は書体が異なるだけである。 今年は強く要望したので夢の森花の散歩みちの写真等は大きく変わる可能性がある。繰り返すが今年も作るのはいかがでしょうかと思う。	ご意見ありがとうございます。 本ビジョンは、本市観光の目指す姿（将来像）を「地域の資源（たから）が生きる、出会いと発見・感動あふれる観光のまち喜多方」として、その実現に資する施策の方向性を示すものとなります。 ご意見のありました花めぐりパンフレットについては、四季を通じて咲き誇る花やオープンガーデンなどの情報を集約し、市民の方々をはじめ、本市を訪れる観光客に周知するとともに、市内外の観光施設・旅行会社等に配布し、本市への誘客を図ることを目的として、これまで作成してきております。 花めぐりパンフレットは、毎年情報を更新しながら作成しておりますが、ニーズの変化等も踏まえ、令和7年度以降は、最新の情報をいつでも見ることできるよう、Web等を中心に、発信していきたいと考えております。 また、名称の誤りについては、市の確認不足によるものであり、大変申し訳ありませんでした。今後、確認を徹底するなど、適切な対応に努めてまいります。

No	意見等の内容	市の考え方
1	2022年、三ノ倉では菜の花が満開になる前に刈り取られた。さすがにこれは観光客の批判を浴びた。日付によるスケジュールしかなく開花状況で刈取りを数日遅らせることもままならない。 ひめさゆり群生地では駆除方法をご存じない方が管理していて、とても危険なハリエンジュがはびこり、手が付けられない状況まで悪化した。もう手遅れかもしれない... ※ハリエンジュは駆除を間違えると倍増する。濁川のサイクリングロードを見れば一目瞭然。 三ノ倉、ひめさゆり群生地、日中線しだれ桜の三本柱のうち2本がまともに機能しないとなれば行く末は危うい。こんな状況では「花でもてなす」もへったくれもない。 と思うのは私だけでしょうか。早めに手を打たないとすべてがダメになるような気がします。熱塩加納は既にリミットにさしかかっています。	三ノ倉高原の菜の花畑の刈取時期については、夏に予定しているひまわりの開花との兼ね合いや、様々な意見や要望を踏まえ、適切な時期となるよう努めてまいります。 また、ひめさゆり群生地については、個体数減少も懸念されていることから、適切な管理を心がけてまいります。 いただいたご意見については、「花でもてなす観光喜多方」を推進する本市にとって、大変貴重なご意見であり、具体的な施策を進める上で参考とさせていただきたいと考えております。

No	意見等の内容	市の考え方
2	①【見直し（案）41 ページ 課題1】 喜多方市の中心部を見ても、宿泊施設がそもそも少ないし老朽化している。 シェアハウスやゲストハウス、農家民宿の開業や運営を補助するなどして宿泊者数を増やす。そして、宿泊施設は、市民が利用する場合は宿泊補助を出す。 というのは、飲食店を利用したくても代行業者が減ってしまった影響で飲食店の利用をあきらめている傾向があるから。 他からの観光客ばかり目を向けるのではなく、「泊まってみんなキャンペーン」のように、引き続き市民にもメリットがあり、市民で支えることは重要と思われる。（空き家の活用、移住者が増える可能性もある。）	① ご意見ありがとうございます。 本ビジョンは、本市観光の目指す姿（将来像）を「地域の資源（たから）が生きる、出会いと発見・感動あふれる観光のまち喜多方」として、その実現に資する施策の方向性を示すものとなります。 本市は、ご意見にもありましたが、他の観光地と比較して宿泊施設が少ないと言われている一方で、本市ならではの雄大な自然や良質な農畜産物といった魅力的な地域資源を滞在しながら体験できる農家民宿があります。 いただいたご意見については、滞在時間の延伸と観光消費額単価の向上に資する「宿泊観光」を推進する本市にとって大変貴重なご意見であり、具体的な施策を進める上で参考とさせていただきたいと考えております。

No	意見等の内容	市の考え方
2	②【見直し（案）42 ページ 課題2】 「日中線しだれ桜並木」すごい人出だが、その場所での飲食や買い物の選択肢が少なすぎる。出店者を広く市民に募集をかけたり、キッチンカーや友好都市から呼んだりするなど、充実すべきと思う。また、ウォーキングと称して、市内の飲食店やお土産物屋に誘導する仕組みも必要。「三ノ倉高原」も道の駅もそうだが、お土産物のラインナップ、見せ方に工夫が必要と感じる。 都市部と農村部がある喜多方市なので、地元で採れたアスパラやミニトマトなどの農産物を使い、地産地消をうたう飲食店を増やすことも必要と感じる。 そ ういったアピールの仕方で、1 泊目は喜多方市内中心部、2 泊目は農村部と誘導できる可能性が広がる。	② 「日中線しだれ桜並木」については、国内外から多くの観光客が訪れており、本市を代表する観光資源のひとつとなっております。 「日中線しだれ桜並木」や「三ノ倉高原花畑」は、多くの方が訪れることから、訪れる方々が気持ちよく過ごせるような環境整備や交通渋滞緩和対策等を実施するとともに、現地での賑わい創出に努めておりますが、イベント会場周辺に留まらず、市内のお土産物店や飲食店、観光スポット等への周遊促進を図ることも重要であると考えております。 いただいたご意見については、具体的な施策を進める上で参考とさせていただきたいと考えております。
	③【見直し（案）42 ページ 課題3】 Instagram や YouTube の活用をすべき。マスメディアの時代ではなくなっている。 市民に上記のやり方講座をひらく。 ハッシュタグを決めて、いいね、の数のコンテストを行う。	③ 情報発信の手法等については、本市を訪れる観光客の住まいや年代、性別等をしっかり把握するとともに、ターゲットを明確にした適切な手法、媒体を用いた魅力的な情報発信に取り組むこととしております。 中でもSNSについては、現在の情報発信・収集の主流となっていることは承知しており、最大限に活用して情報発信に努めてまいります。

No	意見等の内容	市の考え方
2		いただいたご意見については、具体的な施策を進める上で参考とさせていただきたいと考えております。
	④【その他】 リピーターが通うのは、そこに会いたい人がいるから。 「人」をクローズアップした取組も考えたらいいと思う。	④ 本市には、自然、歴史・文化、食などの豊富な地域資源があり、これらの特色を生かした取組を進めてきております。 その中で、これら資源を生かし、または生業とし、様々なことに取り組み、発信する魅力的な「人」があるからだと認識しております。 いただいたご意見は、市民自らが観光都市の一員として取り組む本市観光に大変貴重なご意見であり、具体的な施策を進める上で参考とさせていただきたいと考えております。